

「一粒萬倍」に出演！

12月13日（金）、愛媛県民文化会館メインホールにおいて、舞踊交響詩「一粒萬倍」が上演されました。その中で「あいひめ神楽」という曲を他の団体の方々と一緒に演奏させていただくことになり、腕に覚えのある（？）選抜メンバー7人が演奏に参加しました。

前日は午後から学校を公欠にしてリハーサルに臨みましたが、結構ダメ出しがあり、プロの舞台の厳しさを感じました。午後8時に終了しました。

当日は朝から公欠で、9時前に会場入りして最後の調整を行い、午後1時から昼の部の公演、午後6時30分から夜の部の公演が行われました。



（前日のリハーサルの様子）



（本番直前の控室にて。いざ出陣！）

10月頃から合同練習を重ねてきた「あいひめ神楽」は、無事演奏を終えることができました。指導して下さった皆様ありがとうございます。

この舞台の素晴らしさは、和楽器と洋楽器、舞踊とダンス、古典芸能と現代芸術が、それぞれの分野のトップレベルの演者によって構成され、それら

が渾然一体となって独特の世界を創り出しているところです。身近でありながら深遠なテーマも、見る者の胸に深く刻まれました。2時間の公演がとても短く感じられました。

このような機会を与えて下さった関係者の皆様に大変感謝しています。これからも高校生らしい明るく元気な演奏で愛媛を盛り上げていきたいと思います。



（出演者全員による記念撮影の様子）

全てが終わって帰途に就き、JR内子駅に降り立ったのは午後10時35分。内子の町はすっかり静まり返っていました。こうして、初めての経験ばかりの貴重な二日間は幕を下ろしたのです。